

基本理念・目標・方針を検討するための委員からの意見抜粋資料

生涯学習分科会委員からの意見

項目	キーワード	委員の意見
区民が主役の計画	区民のために何かをする	区民のために自分がどうかできるか
	区民に焦点をあてる	ターゲットを区民に置かなければならない。
活動の場の用意	講座会場数の充実が必要	財) 文京アカデミーの行う講座は会場が限られており、「区内まるごとキャンパス」を実現するにはいろいろなハードルがある
活動成果披露の場	活躍の場があること	生涯学習という団体の中で活躍の場があるからというきっかけ
	活動状況発表の機会の拡大	その学習をなされた方々の活動をよくわかっていない。そういう方が地域参画できるようなネットワーク作り
学習成果の活用	個人の活動状況の把握	その学習をなされた方々の活動をよくわかっていない。そういう方が地域参画できるようなネットワーク作り
	経験者が活動を地域に伝える	その学習をなされた方々の活動をよくわかっていない。そういう方が地域参画できるようなネットワーク作り
機会創出	きっかけづくり	生涯学習という団体の中で活躍の場があるからというきっかけ
活動支援	ボランティア活動の支援が必要	ボランティアを手助けする ボランティアをやりたいときにどう皆さんが具体的に楽しんで参加できるか、サポーターの事務局を立ち上げて何とか楽しく共同にレベルを上げながらやっていくか
	活動サポーターが必要	ボランティアをやりたいときにどう皆さんが具体的に楽しんで参加できるか、サポーターの事務局を立ち上げて何とか楽しく共同にレベルを上げながらやっていくか
幅広く学習を支援する	幅広い世代の生涯学習活動推進	生涯学習で参加するのは高齢者が多いが、若い人たち、お母さんたちもやらないといけない。文京区は大学の連携がいろいろあり、そういうところで活用したい
	区民の区外での学習を支援する	外に出るようなところを考えたらいい。区民が外に観光に行ってそこで勉強してくるアカデミックなレベルを上げをしないと、今までの人を寄せ付けて観光案内をするようなことになったら寂しい

項目	キーワード	委員の意見
共に向上しあう	活動する側と支える側が共に向上する	ボランティアをやりたいときにどう皆さんが具体的に楽しんで参加できるか、サポーターの事務局を立ち上げて何とか楽しく共同にレベルを上げながらやっていくか
様々な社会資源との連携	区内の大学との連携	生涯学習で参加するのは高齢者が多いが、若い人たち、お母さんたちもやらないといけない。文京区は大学の連携がいろいろあり、そういうところで活用したい
	他の地域との連携	ほかの区との連携はどうするのか、国としての施策はどうなっているのか
ネットワーク形成	地域参画のためのネットワークづくり	その学習をなされた方々の活動をよくわかっていない。そういう方が地域参画できるようなネットワーク作り
最先端の計画づくり	国の施策の動向把握	ほかの区との連携はどうするのか、国としての施策はどうなっているのか
区民の学びによる観光振興	観光に対する区民の学びの促進	外に出るようなところを考えたらいい。区民が外に観光に行ってそこで勉強してくるアカデミックなレベルを上げることがしないと、今までの人を寄せ付けて観光案内をするようなことになったら寂しい
策定の上での視点	目標に対し、具体的にどのように展開していくかが重要	生涯学習のレベルが上がるのではないかと、今回も目標に対して具体的にどう展開するか
	計画に入れる事業とそうでない事業の仕分けが必要	確かに福祉や教育は事業の根幹を成すかもしれないが、本当にこの範疇に入れるべきなのか。その辺の事業仕分けをしっかりとやっていく
	「区民がつくる区民のための区民の大学がどうあるべきか」という視点が大切	市民が作る市民のための市民の大学はどうあるべきか
	委員の考えをぶつけ合いながら計画を策定していく	いい市民になっていくということはこの文京区の行政を批判的な目で見られる人間をつくる。
	限られた予算の中でより良いものができるようにしていく	「税金を使ってやるということがどういうことなのかということを考えろ」
	分かりやすく魅力的なキャッチフレーズを検討する	まるごとキャンパスはいい

スポーツ分科会委員からの意見

項目	キーワード	委員の意見
幅広い世代の活動を促進・支援する	子どもたちの参加促進	子どもたちの参加が少ないので、分科会でそういう相談していこうと思う。グラウンドは少ない、体育館は少ないということもあり、そういう点も少しこれから勉強したい。
	様々な世代が参加できることが重要	子どもから高齢者ということは非常に今、重要な課題
	定年後の自己実現	仕事人間、会社人間にとってリタイア後をどうするかが1つの大きな課題
仲間づくり	活動を通じた仲間づくり	利害関係のない友だちがたくさんできて仲間が増えた。文京区で60年間生活していながらよく知らない面があったが、講座を通して知ることができた。
	仲間とともに学ぶ楽しみ	みんなで学ぶ楽しさや、自分の時間がたくさんあるわけだからそれをどう有効活用できるか
魅力の再発見	区の魅力の再発見	利害関係のない友だちがたくさんできて仲間が増えた。文京区で60年間生活していながらよく知らない面があったが、講座を通して知ることができた。
時間の有効活用	時間の有効活用	みんなで学ぶ楽しさや、自分の時間がたくさんあるわけだからそれをどう有効活用できるか
活動を行う・継続する機会と場の創出	活動を継続するための場づくりが必要	継続するためには自分たちでサークルを作ってサークル活動をやらないとなかなかできない。
	活動を行うための拠点が必要	文京区在住の障害児の特別支援学校を卒業した子どもたちがスポーツだとかいろいろな文化活動を盛んにやっていく場合に何か拠点が必要だろう
	総合型地域スポーツクラブの重要性向上	総合型の地域スポーツクラブ
	スポーツ施設の充実と指導者の育成	ハード面としてスポーツ施設をどうとらえていくのか。それからもう1つはソフト面として指導者を育成するのをどうとらえていくのか
健康づくり	スポーツを通じた健康づくり	高齢化社会を迎えて文京区が介護保険料の個人消費率日本最小を目指すことがスポーツを生かしてできればいい。
策定の上での視点	特別支援学校卒業生の受入状況の把握が必要	特別支援学校の卒業生をどうアカデミーの方で受け入れているのか、現状はちょっとつかめない。
	基本計画に基づいて策定する	基本構想に基づいたアカデミー推進計画を作る必要がある。

項目	キーワード	委員の意見
	事業の整理を行う	同じようなところが同じような事業をやっているというところをもう少し整理して一本化したものが出来上がればいい。
	競技力向上の点をどのように捉えるのか	競技力向上
	他分野と連携して内容の向上を図る	競争化は共同のようなかたちで連携していくというかたちでやっていかなきゃいけない

文化芸術分科会委員からの意見

項目	キーワード	委員の意見
様々な世代との交流	活動を通じた様々な世代との交流	学校以下だとか中学生だとか、または主婦だとか、いろいろな世代の方が集まっていて、そういう方々と一緒に踊りを踊ったり歌を歌うことによって交流
歴史に触れる機会の創出	区の歴史に触れる工夫	文京区に引っ越してきて、例えばいろいろな坂に歴史のことが書いてあったりして、歴史に触れられるというのはすごくいい。
社会資源に恵まれた環境	文化的資源に恵まれた環境	文京区は非常に恵まれている。霞が関から隣接しているし、文化施設、図書館、博物館そのほかにも数多くあって、大名庭園もある。 文京区には比較的、史跡があったり大学があったりいろいろあって、そんなに有名じゃないかもしれないがいろいろある
	区内の施設配置状況の良さ	文京区は本郷と小石川でまとまっているから、非常にいろいろなことがやりやすい。シビックホールという大ホールもど真ん中にある。
社会資源の特色づくり	区内の資源それぞれに特色を持たせる	1つ1つの公園にそれぞれの特徴を持たせる。例えば看板を置いておくとか、あるいは全体の野原にしてしまうといったような区もある。観光の問題では、どこかほかの国との姉妹都市といった問題はあるが、そういったものも活用していく
周知方法の工夫の必要性	周知方法の工夫が必要	イベントはたくさんあるのに若い世代にはあまり伝わっていない
		ただ問題は、PRが少ない。PRというのは、「こういうものがありますよ」だけではない。区報などにそういうのは出ている。しかしどんなによかったかといったようなPRがない。イベントがあることだけ知っても行くそのモチベーションがわからない。もっとそういうモチベーションをわかせるような何か手立てを今後は考えるべきだし、そういうことがまた生涯学習につながっていく。
		文京区には大勢の書家がいるが、もっともっとPRをして大勢の方に参加していただきたい
		PRのことがいろいろお話しは出て、お子さんたちにもっと書いてもらおうとか、あんないいミュージカルがあるんだからというようなことがあったが、やっぱりそれはどういうメディアを活用するか

項目	キーワード	委員の意見
活動推進のための 取り組みの必要性	活動を推進する母体の 必要性	全体を盛り上げる推進母体はどうしてもいる。文京区 は、アグレッシブではない。
	積極的に活動を盛り上 げる	全体を盛り上げる推進母体はどうしてもいる。文京区 は、アグレッシブではない。
	ダイナミックな動きの 必要性	何かやはり1つダイナミックな動きが必要
書道に親しむ場の 創出	子どもたちが書道に親 しむ場の創出	子どもたちにもう少し書道に親んでもらう場面を作 ること
活動内容と進め方 の工夫の必要性	ユニークな講座内容	日医大の創立史、感覚講座、表面科学会、ひびきの森、 区内大学ジャズコンサート、音楽体験、リコーダーに参 加し、いずれもユニークで有益なものでした。
	講座の進め方の工夫が 必要	家庭電気に関する放送大学の講座は、板書が多く、質問 は次回にしてほしいなど、問題が多く、特に資格障害者 としては不十分なものでした
策定の上での視点	(策定の上での視点) 他の地域と比較すると 地味である	あんまり有名でない。ほかの区から比べて、目立って文 京区はいいという感じがしない。
	(策定の上での視点) 分かりやすく魅力的な キャッチフレーズを検 討する	言葉を魅力的に研ぎ澄ましていけないとやっぱり埋も れちゃうんじゃないか
	(策定の上での視点) 「アカデミー」を「学 びの場所が広がる」と とらえると良い	学びの場所が広がる
	(策定の上での視点) 分かりやすく魅力的な キャッチフレーズを検 討する	区域全体が生涯学習のキャンパスだという、そのキャッ チフレーズは非常にわかりやすい

観光分科会委員からの意見

項目	キーワード	委員の意見
観光振興へ向けた 取り組み	観光振興のための地域の活性化	観光の中には地域の活性化というものはどうしても必要である。人が集まってくるような場所、それから人がそこで滞留できるような環境、それから来てもいいなというようなその対象
	積極的な観光振興施策が必要	文京区の場合はちょっと後ろの方に回っているの、この辺を何とか前に出して
	社会的効果と経済的効果をふまえた観光振興	観光振興に取り組む意義として社会的効果と経済的効果がある
	観光に対する地域の対応力	観光に対する地域の対応力がやっぱり観光事業のすべての根源
子どもたちに焦点をあてた取り組み	子どもたちのための取り組みが必要	未来の子どもたちのために
	子どもたちに身近な取り組みの実施	子どもたちにもぜひ「こういったものがあるんだぞ」ということは、すぐに参加させなくても、いつも身近にあることは少しずつでも気付かせていけたら
観光情報提供方法の充実	周知方法・PR方法の工夫が必要	文京区にはたくさんの史跡、財産をたくさん持っているにもかかわらず、区民の方がまったく知らないという方がほとんど、これをどのように告知、皆さんに広く知っていただくかをまずやらなければいけない。
	区内観光案内の充実	「文京区の中でどこをどう歩いたらいいんだろうか」という文京区の観光案内のお問い合わせ
来訪者をきっかけとした観光振興の取り組み	生活文化再認識と魅せ方の工夫による観光振興	観光というのは自ら観光する、つまり国の光を見に行くというのもあるが、観光の観という字は「観（しめ）す」とも読む。自分たちの優れた文物を外から来た人にお示しする、見せるというところもある。自分たちの生活文化の客観視といったこともある。
	来訪者を通じた学びが重要	よそ者を通じた学び
	来訪者をきっかけに文京区を見つめ直す	よそ者という刺激を受けることによって自らが自分たちの町ってどういう町なんだろうとか、ほかの町と比べてどこが優れているんだろうということを見直すきっかけになる
活動支援ネットワーク形成	活動を支える人材のネットワーク形成	生涯学習司やサポーターの会とかインタープリターの会の皆さまはネットワークを今、徐々に広めつつ、皆さん、固めつつある。この英語観光ボランティアの方でもネットワーク

項目	キーワード	委員の意見
講座の内容や運営方法の検討	興味深い講座内容の用意	参加した講座は興味深く聞くことができた
	受講者間の交流	受講者間でコミュニケーションをとることができたのが良かった
	区民主催の講座の開催	文京アカデミーは講座を丸投げしており、区民プロデュース講座が開催できない
	講座の運営方法の検討	予算を申請し実行して実行委員に運営させる
	講座受講における課題	抽選で受講可否がきまる点は、参加を難しくしている
策定の上での視点	経済活性化、消費活性化からの観光振興	観光の視点で欠かせないのはやはりその経済活性化、消費活性化なので、これを抜きに観光を議論するというのが果たして適切なのかどうか
	楽しみを感じられる場の検討	観光地に行くという楽しみを持って行く側なので、楽しみを持って行けるようなことを考えていけばいいのかな
	施設管理レベルの公表	ある施設を作ったからにはその施設を運営する管理レベルがあるはず
	計画における観光の位置づけを検討すべき	どのように観光というのを位置付けるのか
	分かりやすく魅力的なキャッチフレーズを検討する	「区内まるごとキャンパス」の言葉が大変好き
	観光に関する行政計画が不十分	観光施策に関する行政計画（「何時までに」、「何を」、どのレベルまで」実施するか）がない

国際分科会委員からの意見

項目	キーワード	委員の意見
国際理解の推進	学校における国際理解教育を地域の中でも広める	家に帰ったり地域の中で広がっていきけるような、そういう視点でこの国際交流という学校とのかかわり
	国際理解教育通じた次代のまちづくり	国際理解教育というものが多く取り組まれば新しい社会の子どもたちが成長して出てくる。それから高齢者の場合には活性化ということでやはり刺激というものは違うものを少し触れることで心の活性化が生まれて、これだけ年を取ったけど新しいものもまたあるということ。それからまったく知らない人にも教える。
	国際理解を通じた新たな世界の発見	国際理解教育というものが多く取り組まれば新しい社会の子どもたちが成長して出てくる。それから高齢者の場合には活性化ということでやはり刺激というものは違うものを少し触れることで心の活性化が生まれて、これだけ年を取ったけど新しいものもまたあるということ。それからまったく知らない人にも教える。
文化交流の推進	国際交流における文化交流の推進	文京区の中に国際交流としてある国と本当の文化の交流ができるかどうか
積極的な国際交流施策の推進	国際交流の積極的な推進	文京区が海外に強い区になれるような活動
	姉妹都市との今後の関係の検討	区の姉妹都市の今後の関係
	外国人との交流の仕方	7,000人ぐらいの外国の方がいるが、その方たちとの関係
	区内における国際交流と対外的な国際交流	内に向かった交流、それから外に向かった交流
	留学生を中心とした国際化の推進	文京区の場合には産業が育っていないので、外国人ということはちょっと無理なのだと思う。そういう意味で国際化といったときに外国からの留学生
	国際教育に力を入れたまちづくり	外国から見てもすごい国際教育村だと言えるような町、その中に本屋もあれば何とかもあればといういわゆるコンセプト作りの町が育つのかどうか
魅力ある観光資源の活用・PR	観光資源活用方法の検討	いわゆるキャンパスが本当に観光化できるためには持っている資源を、施設および全部を活用しなければとてもできるものではない。観光というのはそこに自信があって特徴があるものをアピールすることができること
周知活動の充実	周知活動の充実	区民に啓発をする、お知らせするという活動

項目	キーワード	委員の意見
区の強みを活かしたPR	文教地区としての強みを活かしたPRを行う	文京区がこの教育という立場から学校というものが、どれくらい日本の中で一番多いとか、面積あたり多いとか1人当たり多いとか、ほかの区から流入が多いとか、つまり世界一の教育地域なのかどうかとか、こういったものをとにかく自分の第一シンボルとして強烈にアピールできることが1つ重要
歴史と文化の再認識	日本の歴史と文化を知ることが重要	日本の歴史と文化というものを伝達していく、そういう人材を育てるということで、やはり自分が海外に長く暮らしていたということから来る、欠けている点、日本の歴史と文化をまず勉強しなければ国際交流の「こ」の字も語れない
	子どもたちが海外で区の歴史を文化を伝えられることが重要	海外へ行って文京区なら文京区のお子さんが文京区の歴史と文化を相手先のお子さんに伝えられるのかどうか
生涯学習推進	区民参加の生涯学習の推進	インタープリターを含めて区民参加の生涯学習を今まで進めている
	生涯学習を通したまちづくり	生涯学習と町づくり、生涯学習推進が町づくりに結び付くという考え
	活動参加者の地域への還元の仕事が必要	生涯学習に参加する人はやはり限られてしまうのが1つ問題点としてある。実際に参加した方が地域に戻って、また地域で広めていくような仕組み作りが必要
区内の大学との連携	区内の大学との連携	文京区にある大学の方には協力がなければもちろんできないこと
各種講座の内容と運営方法の充実	講座時間の工夫が必要	国際理解教室は、いろいろな国、異文化を知ることができるが、時間が短い。
	交流の広がり	国際理解教室には大学生も参加しており、とても身近で良い
	運営主体等との連携	運営主体、団体とどのように連絡をとるかが課題
	魅力的な講座内容の検討	子どもたちにとって、どれだけ印象に残る体験ができるかが大切
策定の上での視点	子どもたちの育ちの視点をふまえる	子どもたちがどうやって文京区を見、文京区の中で育っていければという視点で、保護者もそういう視点でつながり等

項目	キーワード	委員の意見
	国際化をふまえた施策策定	そのためにはやはり町をつくるという受け入れをする、これから高齢化する社会、少子化と高齢化が同時に入ってきているという基本の背景がここのコンセプトに入っているが、そこにいわゆる第三者のカンフル的な国際化というものがどういう影響を人生生活設計の中で起こってくるのか
	分かりやすく魅力的なキャッチフレーズを検討する	文京区がまるごとキャンパス